



集落営農法人だより

“村岡嗣政山口県知事と法人協との懇談会”を開催

本協議会は8月3日、長門市油谷で村岡嗣政山口県知事との懇談会を開催しました。村岡知事、県幹部職員、法人協役員等42名が出席。浅井自治会集会所で、長門大津地域や株式会社長門西の取り組みを紹介したほか、油谷湾温泉ホテル楊貴館では、集落の実情や法人が抱える課題等について村岡知事と法人協役員が意見交換しました。

1. 現地視察

長門市油谷の浅井自治会集会所では、長門大津地区農業法人連絡協議会の末永孝義会長が同地区の集落営農法人の取り組みについて、株式会社長門西の窪田進代表取締役が集落営農法人連合体である同社の取り組み等をそれぞれ紹介しました。

次に、若者が積極的に集落営農法人の活動に参加していることが紹介され、同社の専任従事者、花岡輝彦さんがドローン操作などを説明、萩原立己さん、健士郎さん兄弟が実演を披露しました。



報告する末永会長(左写真・㊟)窪田代表(右写真)



ドローンを操作する萩原さん(写真左)と村岡知事(写真右㊟)

2. 意見交換

現地視察に続き、油谷湾温泉ホテル楊貴館において、意見交換を実施しました。

はじめに、協議会の中村久会長が「農業を取り巻く情勢はますます厳しくなるが、われわれは集落の力を結集し、難局を乗り越えていきたいと考えている。県など関係機関には積極的な提案・支援をいただきたい」と呼びかけました。

また、長門大津地区のブランド米「米づくり農家の自信作」、「粒美人 2.0」や「はなっこり一天」の試食も実施しました。



意見交換では、本協議会役員が、①法人間連携の取組等による経営強化、②担い手の確保・育成に向けた取組の2つのテーマに関して、集落が抱える課題、県事業の必要性等について、発言しました。

また、村岡知事は「現場の状況やニーズに応じた、きめ細やかな支援が重要と考えていますので、今後とも、地域のリーダーである皆さんの忌憚のないご意見、ご提言を賜りたい」と、集落営農の取り組みに対し理解を示されました。

最後に、村岡知事を囲んで記念写真を撮影し、懇談会を締めくくりました。



“ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会”を開催

7月25日、26日、27日の3日間、山口市のサンフレッシュ山口で“平成30年度ソリマチ農業簿記を活用した会計処理研修会”を開催しました。

県内各地の集落営農法人から、理事の皆さんをはじめ会計担当者の方など23名が参加。ソリマチ株式会社 農業情報事業部 中四国ブロックの岩下桂リーダーによる説明のもと、実際にパソコンを操作しながら農業簿記への理解を深めました。

“ソリマチ農業簿記システム”は、簿記の知識に自信がない方でも扱うことができますが、経営感覚を養う上で一定程度の会計知識を備えておくことは大切です。今回の研修会では、システム操作に加え簿記の基礎知識についても連絡することができました。

今後も、研修会の開催など知識習得の場を設定していきたいと思っております。



百姓錬磨の会メンバーがJA青壮年部、就農支援塾生と交流

本協議会の若手法人就業者サークル“百姓錬磨の会”メンバーは、7月28日、山口市内で開かれた「やまぐち農民塾」に参加し、地域農業の中核を担う“JA青壮年部”のメンバーおよび新たに就農を志す“やまぐち就農支援塾”の塾生らと交流しました。

最初に、県農業振興課の白井美穂技師の「GAPについて考えてみる」と題した講演を聞きました。続いて、各組織の取組紹介や視察の感想、日頃の営農活動等について意見交換を行いました。

今回のイベントは、若手就業者、また農業を志す者が一堂に会し、農業に携わることの喜び、やり甲斐、悩みや苦労話などを共有できる絶好の機会となりました。

協議会では今後もこうした機会を提供し、営農技術の向上や仲間づくりに貢献していきたいと思っております。

